

技術提案書作成及び記載上の留意事項

1. 作成に係る留意事項

委託業務内容は、別紙1「愛知・名古屋2026大会スポーツプレゼンテーション基本計画策定業務委託仕様書（以下「別紙1」という。）」のとおりであるが、提案にあたっては、下記の資料等を参照すること。

○開催都市契約（2018年8月）

○大会開催基本計画（2019年11月）

○GAMES INFORMATION Vol.2（2021年7月）

※ これらの資料は、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会HPに掲載されている。

2. 記載方法

(1) 用紙は、原則、A4版（縦）とし、横書きで作成すること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えない。

(2) 片面印刷とし、40頁以内とすること。

(3) 文字サイズは11ポイント以上とする。図表等の注釈等は8ポイント程度以上とし、判読できるものとする。

(4) 企画提案は1社1案とし、別紙3「評価項目及び評価基準表」を踏まえ、提案趣旨や強調したい点を明確に示し、わかりやすくまとめること。

(5) 企画提案書の副本には、社名は記載しないこと。

3. 記載する上での留意事項

(1) 記載にあたっては、別紙1を踏まえ、別紙3に照らし合わせ記載すること。見積書の内容が適切であるかを判断できるよう、技術提案書において、以下の内容を記載すること。

① 業務を組織委員会とともに確実かつ責任をもって遂行・達成するための体制（実施担当数、責任者の役割・配置等）を記載すること。また過去10年（2013年4月1日以降）に本業務と類似する業務（大規模な国際大会におけるスポーツプレゼンテーション業務）を、元請け又は下請けとして受託した実績や担当者として携わった経験がある場合は記載すること。

② 過去大会の事例調査及び必要業務等の整理について、どの国際大会を対象に、どのような方法で情報を入手するのか、競技・種別ごとに記載すること。また、どのように必要業務を整理するのか記載すること。

③ 大型映像装置に係る検討について、全体的な検討の流れを示すとともに、仕様及び設置方法、調達概算経費の具体的な検討方法を記載すること。

④ 大型映像装置以外の方法によるスポーツプレゼンテーションの可能性の検討について、どのような方法による実施が実現性が高いか、事例がある場合は具体的な事例を示しながら記載すること。また、独自の提案があれば具体的に記載すること。

- ⑤ 実施レベルの検討について、レベル設定や競技・種別、競技会場のグループ化の考え方、検討の方法を記載すること。
 - ⑥ 仮構成案の作成について、作成の進め方や考え方を具体的に記載すること。
- (2) また、業務の効率化による経費・業務の節減等の実施方策についても記載すること。
- (3) 業務の実施工程については、別紙1を踏まえ、中間報告までの工程、中間報告後の工程を具体的に記載し、期限までに確実に契約の履行ができる手順を記載すること。